

エノヤマザクラに花が咲く 朝倉氏 4月6日（火）撮影

場所：小野江公民館の裏



金田一桜東側の1本



学童保育校舎前



令和3年度友の会 報告会

松浦武四郎記念館友の会

場所：小野江公民館大研修室

時期：令和3年5月9日(日)

11時30分～30分間

※コロナ感染拡大のために

定期総会から報告会に変更する。

・参加者：30名

・質疑応答は無しとして質問がある方は
質問事項を書き、5月末までに武四郎
誕生地へ届けるように伝える。

(返答は、会長が電話か書類郵送します)

・初めに、松阪市長のメッセージを飯田
会長が代読。

※5月末までに、意見が出なかったので、
了解された事と判断しました。



小野江公民館が此の4月オープン
後に、大研修室で初めての報告会。
*駐車場も広く、多くの住民の方々
が活用されています。
これからは、武四郎講座についても
この場所を借りて開催されます。



○報告会の内容について

☆令和2年度活動計画、3年度活動(案)

☆令和2年度収支決算報告と監査報告

☆令和3年度予算計画。(案)

☆その他

- ・友の会が松阪市社協表彰の受賞
- ・松阪市ボランティアの会費について
- ・松阪市ボランティア保険について



恒例の松浦武四郎記念館友の会活動展示

- ・時期:6月3日(木)～24日まで
- ・場所:三雲ほっとギャラリー
(三雲地域振興局入口)
- ・内容:昨年の活動の中から
☆武四郎が泊まった旅籠跡など
研修バスツアーなどの活動
☆今年咲いた「エゾヤマザクラ」
の写真を展示。



- ・武四郎が詠んだ和歌 393 首以外に武四郎記念館の掛軸しか無い和歌を拓本したもの。
- ・大杉谷へ武四郎看板が設置した写真。
- ・大杉谷ダム湖に沈む前の写真。
- ・エゾヤマザクラへの取り組み。
- ・「友の会」が松阪市社協会長表彰を受賞した表彰状の展示。



松浦武四郎 蒲生氏郷 大谷嘉兵衛 大淀三千風…



くろくで、
孫 かつこよ
じいじまごい
かつらやま・
中、祖母・桂山

松阪ゆかりの 偉人8人紹介

松阪市ゆかりの偉人を紹介する「松阪の偉人たち展」が七日、外五曲町の市文化財センターで始まった。小野江町出身で幕末に蝦夷地を探検し、北海道の名付け親として知られる松浦武四郎や、松坂城を築いた戦国武将の蒲生氏郷ら八人の功績を紹介している。十一日まで。

(奥村友基)

11日まで 市文化財センター



松浦武四郎を紹介する展示＝松阪市の市文化財センターで

市内の八つの顕彰団体が、各地の記念館などから持ち寄った資料やパネル計三百点を展示している。企画展は今回で七回目。

旧飯高町出身で、明治時代に養蚕の発展に貢献し、地元の小学校や橋の建設にも協力した大谷嘉兵衛（一八四四―一九三三年）を紹介するコーナーは、企画展では初公開となる当時の新聞の写しなどを展示している。神奈川県鎌倉市に住む嘉兵衛の子孫が所有していた資料で、嘉兵衛の危篤を伝える紙面では「横浜貿易界で無二の大恩人」と功績をたたえている。

また三年ぶりに、射和町出身で江戸時代の俳人大淀三千風（二六三九―一七〇七年）を紹介。町内にある三千風の句碑の写真や、三千風が紀行文「日本行脚文集」を執筆するため、七年かけて東北から九州を旅した行程を示した地図を展示している。

企画展を主催する松阪偉人顕彰団体協議会の飯田秀副会長などは「分からないことがあれば協議会の人に尋ねて、郷土の偉人を深く学んで」と来場を呼び掛けている。入場無料。午前九時半―午後四時半（最終日は午後三時）。

また協議会は九月十八日、射和町の偉人ゆかりの地を巡る催し「偉人発見ウォーク」を開催する。申し込みは先着順で三十日まで。☎市文化課＝0598（53）4393

「第7回松阪の偉人たち展」に参加

- ・展示期間：7/7(水)～11日(日)
- ・展示会場*：松阪市文化財センター
第1～第3ギャラリー
- ・武四郎コーナーは第1ギャラリー
- ・我々、友の会が第1ギャラリー
が受付場所であり、受付担当。

*今回は、コロナ禍の関係で
オープニングセレモニーと各団体
のパネルディスカッションは中止。
子ども達対象に偉人ウォーク計画



- ・今回の見学者はスタッフ含めて
約450名であった。

今回は展示場所が広く、大型パネル
に、武四郎が西日本の天満宮へ神鏡を
奉納しており、研修バスツアーの展示。
*友の会発足以来訪れた天満宮の内容

- ・今年咲いたエゾヤマザクラの
写真と北海道弟子屈で、エゾヤ
マザクラと武四郎が出会った内
要を掲示して見学者に関心を
もって貰った。
- ・大杉谷の登り口に武四郎看板
が建てられたが、その写真を
展示して、多くの方々に見て
頂き、その日の担当者が案内。



友の会主催の武四郎講座

- ・開催時期:令和3年8月8日(日)10時~
- ・開催場所:小野江公民館(大研修室)
- ・講師:友の会役員の高瀬淑子様
- ・演題:北海道で松浦武四郎
- ・参加者:友の会会員中心に36名

*友の会主催の武四郎講座は今年2回を予定しており、次回は11月に石水博物館の桐田学芸員を計画しています。



*高瀬淑子さんは、北海道を訪れ、武四郎の足跡をたどった経験を基に、武四郎の功績やアイヌ民族の文化について話をされ、参加された方々から、是非その続きをお聞きしたいとの意見が多かった。

話の資料は詳細に作り上げたものを参加者に配布して、時にはアイヌの儀式を実演されたり、アイヌ衣装を身に付けてお話をされました。

スライドに映し出されたアイヌの祈りを詳細にお話をされ、参加者は真剣に耳を傾けておられました。



エゾヤマザクラが秋に「狂い咲き」

時期： 令和3年9月中旬

場所： 小野江公民館周辺の移植した2本

状況： 今年雨が多く降った関係で、小野江公民館建設に伴い入り口付近となるエゾヤマザクラが邪魔になるので、その1本を県道沿いの看板横へ移植をした桜が、9月中旬にピンク色の綺麗な花が30個咲く。

*地元新聞（夕刊三重）にも、阪内川付近の桜町の方が、桜（ソメイヨシノ）が綺麗に咲いた写真が掲載されており、専門家の話によると今年雨が多く降った関係で、「狂い咲き」と言われています。



武四郎が詠んだ和歌を明確化

時期：令和3年10月末

担当：松浦武四郎記念館：多賀館長

内容：現在の管理は、松阪市であり文字が見えにくいので、会長から多賀館長に依頼する。

実施内容：黒ペンキを掘った文字に入れ込み遠方からでも見やすくなった。



○此の歌碑について

平成26年7月6日に原田積善会様の助成金を受けて、記念館入口横に此の歌碑が建立されました。武四郎記念館は松阪市の土地であり、1週間後には友の会から松阪市に寄贈しましたので、管理は松阪市になったわけです。

この写真は歌碑を遠方から撮った写真です。



友の会主催の武四郎講座

- 時期：令和3年11月14日（日）
- 時間：10時～11時30分
- 出席者：会員・一般含めて31名

- 講師：石水博物館：桐田貴史学芸員
- 演題
松浦武四郎の読書と川喜田家の蔵書



昨年、桐田学芸員の講演に出席者の方々から、続きの講演を是非お願いしたいとの意見が在り、今回の講演となりました。

武四郎と川喜田石水の関係に興味のある方々が真剣に耳を傾けて、桐田学芸員の話が聞かれました。

オーバーヘッドで映しながら詳細に話をされ、終了後は質問が2件ありました。

写真を撮られた方やビデオで撮っておられた方もいました。



友の会主催の第2回拓本体験会

開催日：令和4年1月29日（土）

時間：13時30分～2時

場所：小野江公民館（大研修室）

参加者：友の会員14名

（内初体験者：8名）

○「四五百の森拓本会」の西村会長から、展示された拓本の説明や作業方法など手順を受けてから、拓本に入る。

○拓本会の会員6名の協力と指導を受けながら作業に入る。



○会場には、北海道で歌碑を拓本された物や武四郎と関係のある佐佐木信綱の歌碑などの掛軸を10点ほど展示され、西村会長から、拓本について説明や拓本の作業方法についてお話を聞いた後で、拓本会の会員から手ほどきを受けながら、拓本に取り組みました。

○拓本した物は、全員から裏打ちの依頼があり、出来上がった拓本は、武四郎誕生地に於いて3月に展示を計画しています。

※会場準備には、机・椅子の除菌と検温・3密を厳守して取り組む。

